

平成 22 年度第 2 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 22 年 4 月 26 日 16 時～17 時 05 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、山中、田中、牧野、家崎、松岡、大西 (敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	沢田 真希
研究名	用主的呼吸介助を用いた術後肺炎の予防
研究内容 要旨	平成 20 年度術後肺炎を発症した患者は手術を受けた患者の 10% であった。その原因に安静を強いられ、早期離床が困難であったことが考えられるので、ポジショニング、用主的呼吸介助を取り入れ、術後肺炎の予防に努めたい。術後肺炎の予防を目的に用主的呼吸介助を行った場合の術後肺炎の発症の変化を検証する。
審議結果	条件付承認（確認は委員長に一任）
意見	手術後の体位交換、口すぼめ呼吸、用手的呼吸介助法の実施の可否については、主治医に確認する。 説明書の「しかし、新規の診断・治療などを受ける機会が失われる可能性もあります」を削除する。
新規研究計画の審議	
申請者	中出 浩貴
研究名	R V 測定による評価
研究内容 要旨	透析患者のリフローリングボリューム（R V）を測定することで、適正水速度の評価をし、また末梢循環を良好にすることで R V の変動を評価する。 クリットラインモニター（C L - III）を使用
審議結果	差し戻し
意見	通常透析では一般的に行われておらず、研究目的で行われる医療行為が何かを明確にする。 研究目的で測定される項目（R V、S S P、身体体液量、サーモグラフィ）の測定方法、測定時間について（侵襲的化非侵襲的かも含め）わかりやすく記載する。 測定に使用する機械は業者から貸与されたものであることを記載する。
新規研究計画の審議	
申請者	坂倉 光智

研究名	透析開始時間における脱血量・脱血速度の検討
研究内容 要旨	透析開始時間において脱血量・脱血速度の違いで透析前後の血圧および透析経過中の血圧に与える影響を検討する。
審議結果	差し戻し
意見	脱血量、脱血速度を変え、何種類の脱血方法を行うのかを、計画書・説明書に明確に記載する。 開始後の速度は一定であることを記載する。